



新春を迎え

笠間市長

山口 伸樹

明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、希望と期待に満ちた新春を健やかに迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、旧年中は市政運営に対する温かいご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年3月19日、旧笠間市、旧友部町、旧岩間町の合併により、新生「笠間市」が誕生いたしました。私は、多くの市民の皆様のご支援の下、初代市長の任をあずかることとなりましたが、新市長としての初の元日を、大きな希望と責任の重さをかみしめながら迎えたところでございます。本年も、市民の皆様の負託に応えられるよう、市政運営の先頭に立ち、総力を挙げて取り組んでまいりたいと考えております。

さて、昨年は、合併という市民の皆様にとって大きな変化

の年でありましたが、一般会計予算271億円の議決によって新たなまちづくりがスタートし、平成18年度施政方針における4つの基本理念「公平公正な一つのまちづくり」「住民との対話、連携協働」「開かれた市政、情報公開」「行財政改革の断行」に基づいて市政運営を行ってまいりました。その間、新市の一体感を醸成するためのスポーツ・文化交流の開催、市民の意見を市政に反映させるための市政懇談会の開催、パブリック・コメント手続制度を活用した「笠間市民憲章」「市の花・木・鳥」の制定作業、そして歳出の抑制と経費節減のための効率的な財政運営を行ってきたところでございます。また、行財政改革の第一歩として、行政改革推進室の設置、指定管理者制度の導入、市職員の人事評価制度の導入等を積極

的に行ってまいりました。一方、議員定数削減を求める条例制定請求が修正可決され、市議会の解散をめぐる住民直接請求の結果、市議会が自主解散し、昨年末の笠間市議会議員一般選挙によって、新笠間市議会が誕生いたしました。今後、市議会と協力して、笠間市の発展を築いてまいりたいと考えております。

効率的な行政サービスに向け、健全な行財政運営、行政改革の推進、事務事業の適正な見直し等を基本としながら、生活基盤の整備促進、環境・教育・福祉の向上、生涯学習の推進、産業・観光の振興に取り組んでまいり所存でございます。

また、総合計画審議会や行政改革推進委員会をはじめ、各種審議会等に多くの市民の方々に参画していただき、市民が主役となったまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

そして、新しいまちづくりを推進するに当たり、公共の担い手は行政だけではなく、地域のために、隣人のために、子どもたちのために、何かをしたいと願うすべての市民が公共の担い手であります。いろいろな事業を通して市民と行政が連携・協力し、地域コミュニティの信頼関係を築き上げていくことが大切であると考えておりますので、ご理解を賜りたいと存じます。

結びに、笠間市のすばらしい未来に向けて全力を尽くすことを誓うとともに、市民の皆様のご健康とご多幸を心からご祈念申し上げます。